

美濃加茂市総合戦略策定に係る職員ヒアリング（結果まとめ）

【実施概要】

日時 : 平成27年11月17日 13:30~16:00
11月18日 13:30~16:00
場所 : 美濃加茂市役所 2階 防災会議室
参加者 : 美濃加茂市役所女性職員8名、(株)ジャパン総研1名
実施方法 : 1名ずつ総合戦略素案に対する意見を聴取

【主な意見】

1 「出会い・結婚」のページについて

	内容
言葉の表現	<ul style="list-style-type: none">○「結婚適齢期」という言葉の表現が気になる。○「結婚適齢期」は人それぞれなのであえて書かなくていいと思う。○リード文にある「恋をする」という一文はいらぬのでは。お見合いで結婚する人などは、必ずしも恋愛＝結婚ではないと思う。
婚活	<ul style="list-style-type: none">○出会いの部分は、市が行うよりも民間団体がやることを支援する方がいいのでは。○行政の事業よりも、若い人同士の有志で集まる機会の方が出会いはあるのではないか。○同窓会の補助、飲食店との協働は良い。○婚活にまちをあげて取り組んでいるところもあるが、本当に成果があがっているかは疑問。岐阜県でも事業をしているが、当初、登録が厳しかったものが、人が集まらなかったようでだんだん登録規程がゆるくなっている。公共が担うメリットは何か明確にしなければならない。○行政がどうサポートできるのか、難しいと思う。自分でそのような場に行ける人はすでに行っている。○出会いがない人も多いので、機会はある方がいい。犬山市ではリトルワールドなどで婚活、恋活のイベントがあったようだ。美濃加茂市であれば昭和村や健康の森などを活用してもいい。でもガチ感出るのも知り合いに会うのもいやなので、検討がいる。
交流の場	<ul style="list-style-type: none">○公共施設を交流拠点にしたとして、果たして若い人が集まるか。民間に開放するなどの手法がいいのではないか。人が来るようにするにはセンスが必要である。○コミュニティカフェのイメージがわからない。高齢者のサロンのようなものなのか。また、出会いの支援はコンパなどの開催なのか。○セミナーや趣味などで、夜でも行ける気軽な集まりがあるといい。「出会い」「婚活」と全面に出さずに、構えないで行ける場所。男女だけではなく、女性同士でも友だち、人脈づくりでつながりあえるといい。
自分磨き	<ul style="list-style-type: none">○資格取得への支援については、行政が支援する範囲を明確にすべき。○資格取得の支援や習い事などの機会をもっと押し出してほしい。美濃加茂市には、昼間働いている女性の習い事（ヨガやダンスなど）の場がない。自分の気持ちを上げる習い事ができるといい。

2 「妊娠・出産」のページについて

	内容
言葉の表現	<ul style="list-style-type: none"> ○「第3子以降の出産を奨励する」という表現が気になる。「奨励」を「応援」くらいの表現にできないか。 ○「つぶやき」の中の年齢を不安に思う一文は、確かに真実なのだが、見て余計にあせってしまう人がいるかもしれない。言い回し、伝え方を検討した方がいい。 ○妊娠・出産なので女性の視点多いが、女性側の心理的負担になるといけないので、男性側からの視点も盛り込んだ方がいい。 ○少し女性の負担が大きいイメージなので、男性のことも盛り込んでほしい。 ○押し付けがましさを排除しなければいけない。女性がみんなお母さんになるわけではない。 ○今、チャンスがないだけの人ならいいが、そうでない人（ほしくてできない人）が読んだらつらくなるかもしれない。
出産	<ul style="list-style-type: none"> ○産婦人科を増やしてほしいという声は切実。 ○産科が少ないので、それに対する対応を進めた方がいいのでは。 ○市内に病院（産婦人科）がない。可児市の病院も微妙。木澤記念病院は女性の先生でいいというが、混んでいる。 ○妊娠、出産、不妊に関しては病院との連携が必要である。
不妊	<ul style="list-style-type: none"> ○ブライダルチェック（結婚予定の女性が、妊娠・出産に関連する疾患の有無を調べること）の費用がけっこうかかるので、それを助成するのはどうか。もちろん、女性だけがするのはなく、男性も一緒に行く。（男性の不妊も多い） ○医療機関になるのかもしれないが、不妊について相談できる場が必要である。不妊治療をする前段階で、一歩踏み出せない人に対応するところが必要かもしれない。不妊も男性の方に問題がある場合もある。 ○不妊治療は、受け入れるまでが大変だと思う。市に相談するのもためられるかもしれない。不妊に悩み、葛藤している人は多いと思うので、病院に行く前の一歩があるといい。今はどこに、誰に相談していいのかわからない。 ○希望する人が子どもを持てるようにするための支援を行う方がよい。不妊治療の助成にかかる申請を簡単にするなど。 ○不妊治療の助成は力を入れてやってほしい。 ○妊活している人は経済面でも大変そうである。
経済	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを産む時には経済面の心配が大きいと思う。3人産もうと思うと、子育てにかかるお金のことを考えてしまう。 ○「産みたい人が産める」ことを最優先にする。そうすると年齢と経済状況がネックになる。
妊婦等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○2人目を妊娠中に、子どもを預けられるところがあるといい。みんなが近くにおじいちゃん、おばあちゃんがいるわけではない。 ○乳幼児健診に妊婦さんが参加できる機会を設けるなど、赤ちゃんがそばにいるイメージをつけられる機会があるといい。 ○今も保健センターがあるが、「困ったらここ」という場所があって、そこが周知されることは大切なことである。

3 「子育て」のページについて

	内容
指標	○多子世帯を増やすことが良いことなのかは疑問。量で測れるものでないのでは。高齢で結婚する人も多くなっているため、子育てとともに介護の負担もかかる可能性がある。
経済支援	○他市との差別化という点では、給食費の経済負担の軽減などあっていいのではないか。
交流機会	○就学前の子どもがお母さんと一緒に参加でき、お母さん同士の仲間づくりにも貢献できる場があるといい。乳幼児学級は地域の人に限定されてしまう。 ○転居してきた人は、社会や地域とつながる場が不足する。特に乳児を持つお母さんは子どもと1対1で孤立しがちである。御嵩町の「ぼっぽかん」はおばあちゃんボランティアがいて、家族以外の人とのふれあいができ、とてもよかった。支援センター内で飲食できるなど、ちょっとした使い勝手の部分を改善してほしい。
保育所	○規模は小さくてもいいので、新しい保育所があるといい。 ○保育士になる人が減っているようなので、「保育士さんの笑顔も守る」視点も必要。最近の保育所は未満児も多く、親育ても役割になってしまっている。
サービス	○一時預かりは2か所しかなく、急な用事では預けられない。病後児保育も木澤記念病院のみで、しかも病後児のみである。もう少し使いやすいサービスになるといい。 ○放課後児童クラブの時間延長も必要ではないか。迎えに来る親が少し遅くなっても対応してもらえるといい。送迎サービスなどもあっていいと思う。
遊び場	○暗い、少し見通しが悪いなど、防犯上危険でない安全な子どもの遊び場があるといい。 ○平日は福祉センター等の行ける場所があるが、雨の日に遊べる場所がない。
森のようちえん	○自然に近いところで子育てしたいと思う人も多い。そのような中、美濃加茂市には自然と都市の間である強みがある。今の20歳代、30歳代でも自然の中で遊んだ経験のある人は少ないかもしれないので、新鮮に映るのではないか。 ○「自然」をキーワードにするのはよい。
子育て支援	○子育てにみんなが協力するための方向性として、親族、父親以外の地域の大人が支援するものがあつた方がいい。現在も見守りでサポーターさんが活躍している。 ○3世代同居の促進については、需要があるか疑問。子育て環境としてはいいと思うが、3世代同居に持つイメージは人それぞれである。 ○祖父母世代が子育てについて学べる機会があるといい。みてもらっている側からは言えないこともあるが、昔とは子育ての常識も変わっている部分がある。

4 「教育」のページについて

	内容
言葉の表現	○「地域と一緒に子どもが育っていきます」という言葉は、子どもが勝手に育っていくようなイメージである。
特色ある教育	○「地域活性化スクール」は、大学で市外に出た人が地元に戻ってくることを目的に実施している。地元就職を促進して、地元に戻元されるような取組みである。今度、地元で活躍している人と、東京に出た人の話を聞く交流機会を持つ予定である。 ○美濃加茂市にしかない特色を売り出すしかない。
郷土教育 ふるさと教育	○子どもたちに、美濃加茂市に住んでよかったと思ってほしい。例えば“美濃加茂市の子どもは全員和楽器が弾ける”など、何か特色があるといい。国際化の中でも日本文化を知っていることで文化を伝えることができる。また、親の所得により習い事の格差も生じるため、市が主導で何かできるとよい。ゲームではないものに夢中になれる時間も、子どもにとって大切だと思う。 ○歴史・文化の伝承はぜひ進めてほしい。子どもが学べば、親にも伝わる。また小さい頃学んだことは忘れないものだし、祭りなども地元に戻ってくるきっかけになる。 ○中学生くらいになると、自分が暮らすまちが好きでも、市内の他の地域を知る機会が少ない（田舎をばかにする発言をしたりもする）。他校との交流などで、美濃加茂市全体を好きになれるようにしてほしい。
地元就職	○地元の就職説明会があってもいい。 ○大学がないので、どうしても子どもたちは遠くへ行ってしまう。そのような中、戻ってこない理由として就職先の問題があると思う。地元企業との連携や郷土教育なども必要だろうと思われる。 ○市を出ると、大学を出てそのままの流れで就職するので、地元の企業などをあえて見ることがない。地元企業を知ってもらうことも大切である。
交流	○外国人が多いという市の特徴を生かして、在住外国人とのふれあいもあっていいと思う。 ○おじいさん、おばあさんとのふれあいが身近にない人もいるので、ものづくりや遊びなどでお互いに良い効果を生み出せる機会があるといい。 ○地域行事に子どもたちが参加するのはよいが、負担になっていることもある。そういう場合はもちろん必要なのだが、バランスが難しい。

5 「仕事」のページについて

	内容
言葉の表現	<p>○「ワーク・ライフ・バランス」という言葉が一般的に伝わりにくいのではないか。大見出しと小見出しを逆にするなどした方がいいのではないか。</p> <p>○「女性も働かなくては」というようなイメージではなく、「社会参加」という捉え方で表現した方がいいのではないか。起業する人や女性管理職が全面に出てしまうと、そこまでがんばれない女性も多いと思う。ワーク・ライフ・バランスも、仕事と家庭だけでなく、社会貢献や社会参加という観点があるといい。</p> <p>○起業支援はわかるのだが、ワーク・ライフ・バランスに姫 Biz がどのように支援するのかイメージがわからない。</p>
多様な働き方	<p>○専業主婦の働きたい想いを支援する就職の視点も含めた方がいいのではないか。</p> <p>○共働き家庭でも子どもが寂しくないようなしくみが必要である。</p>
職場の意識	<p>○子どもがいても働ける場がほしい。会社に託児があるのは、今は病院くらいだが、そのような職場が増えるといい。</p> <p>○お母さんに優しい職場が身近にたくさんあることが大切だと思う。</p> <p>○子どもを持つ社員に対する、上司や管理職の対応を見直す必要がある。はれもののよう扱ったりされると、逆に戦力外になってしまったようで寂しく感じてしまうことがある。</p> <p>○職場では、子育て経験がある人は財産であるので、働き続けられるようにしてほしい。</p> <p>○女性が働き続けることや産休・育休にインセンティブがないと進まないと思う。企業協力がないと動かない部分である。</p>
両立支援	<p>○未満児の保育料が高すぎるので、安くしてほしい。</p> <p>○働いている親が、子育ての相談ができる時間帯の相談場所があるといい。</p> <p>○職場復帰する際の不安を、妊娠中の職場からの声掛けなどでケアするのはとても良い取組である。</p> <p>○女性の管理職で働いていくためには、家庭の理解も必要である。女性が子育てをすべき、という考えが根深い。</p>

6 その他、全体のデザイン、構成等について

	内容
全体	<p>○20～30代の女性のライフステージという流れはよいと思う。</p> <p>○全体的に、内容がもっと具体的な方がイメージしやすい。</p>
言葉の表現	<p>○全体的に「女性」という言葉が多すぎるように思う。女性という言葉にこだわるよりも、「自分らしく生きる」という視点で表現した方がいいのではないか。</p> <p>○「家族をつくる」「お母さんになる」は、1人ではできないことなので、プレッシャーを感じる人もいるかもしれない。見た時に少しひっかかる人が出るかもしれない。</p>
デザイン	<p>○写真を大きく1ページで使用しているが、それぞれの取組をイメージできる写真が複数あってもいいのではないか。見出しと写真くらいを見て、文字はあまり読まないと思う。(女性誌でよくあるような、“1か月コーデ”の企画のようにさまざまなシチュエーションの写真を使うなど)</p> <p>○フォントは明朝ベースになっているが、もっとかわいい感じのフォントを使った方がいいのではないか。</p> <p>○ゴシックやかわいいフォントを使った方がいいのではないか。</p> <p>○全面ピンクだと気になる。「女性＝ピンク」というステレオタイプなイメージになってしまいそう。</p>
数値目標	<p>○数値目標については、根拠データを示した方がいい。</p> <p>○数値がついていることは、わかりやすくよい。</p> <p>○結婚したり子どもを産んだりすることは行政の目標のためではない、と感じる人もいるかもしれない。</p>
つぶやき	<p>○「つぶやき」の欄は生の声で共感できるものも多い。</p> <p>○「つぶやき」の言い回しが固い。もっと表現をやわらかくした方が読みやすい。</p> <p>○「つぶやき」の言い方が深刻で重く感じる。もっと軽くしてほしい。</p>
用語説明	<p>○「ネウボラ」などの用語がわかりにくいので、説明がほしい。</p> <p>○「ネウボラ」の用語説明が必要。</p> <p>○「ネウボラ」の意味がわからない。</p> <p>○「ネウボラ」「姫 Biz」「クラウドファンディング」などの用語に注釈をつけるなどしてわかりやすくしてほしい。</p>
フロー	<p>○チェックリストはフローチャート形式の方が、読む負担が少ないのでよいと思う。</p>
配布	<p>○冊子は1,000部印刷とのことだが、せっかくだらうならもっと多く配布した方がいいのではないか。</p> <p>○手にとる対象、冊子を配置する場所を想定した方がいい。</p>
庁内	<p>○以前よりは進展しているものの、美濃加茂市役所内が、まだ女性の活躍という点で遅れている部分がある。(旧姓使用の制限など)</p> <p>○市は40歳後半以上くらいから、女性職員が少ない。子育てしながら働くことのロールモデルが少ないので、今からの世代は若い女性職員に道を示していく必要がある。キャリアを重ねて管理職になりたいという人は少ないかもしれない。キャリアプランはさまざまなので、多様な道を選べるようになるといい。</p>